



第四十罰回

平成の終焉と『ラリパツパブルース』

考え



ウマを喰らわば
シカまで

弦楽器イルカ  ⇔ 友人

ひさしぶり。

最近は花粉症の被害で気力が低下しているよ。

森友学園問題は安倍総理からすればいい迷惑だったと思う。

愛国ってあんなふうに単純なものではなく、もっと複雑なもの、いわば多様な考えや文化を許容する幅広さをも許容するものだと思う。

個人の利益だけでなく、家族だけの利益だけでなく、地域だけの利益だけでなく、なんだったら国家という「狭い範囲の日本」の利益だけでなく、広い意味での伝統ある「日本」を中心として皆の利益を尊重するのが本来の姿だと思うけどな。

愛国というのもちよっと違和感があって、もっともしっかりくる「本来のあるべき姿」は「保守」という言葉に象徴されるのではないかと思っている。

さっき書いた皆の利益という言葉も、厳密には保守的な考えにはそぐわない気もする。

利益を追求しているというよりは、美しさの流れに身を任せるくらいのもの、それが保守の国の日本の求心力であるべきだと思う。

国家の利益という考えはどうも西欧の歪んだ合理主義が入り込んでしまう気がする。

戦争を引き起こした考えが保守にあるとしても、戦争を反省したのも保守、行き過ぎた自虐史観を修正するのも保守。

安倍総理はそういうところを目指していると思うけどな。

個人的には求心力は「保守」という言葉に働くのが日本にとっては良いと思う。

あまりにも左寄りの人間の考えや人間観や世界観が浅くて、ニュースを見るたびにイライラして、結果的に右寄りになってきたのが自分だし、そういう人は多いと思う。

上手く考えがまとまんから、またあとで書くね。



いつも通り結論から書くね。

Uの理想とする愛国は信用できそうだから、現政権が本当にそれを目指してるなら、国防軍でも徴兵制でも好きに改憲したらいいと俺は思うよ。

ただ保守にも何種類かあって、Uの理想とする保守はむしろ現政権に批判的な保守だと俺は感じたけどね。

だって現実はどうかと言えばさ。例えばネットでは、愛国政治家や元大臣が首相の前で、国民主権や人権を否定したり、国民の生活が第一なんて政治は間違いだと声高に非難してるご本人動画が観れるよ。某首相妻に至っては、首相万歳の愛国教育（洗脳）は幼稚園だけでなく小学校でも続けるべきだって、悦に入って演説してるよ。

これらの動画と首相の二転三転する国会答弁見れば、現実の愛国が保身とビジネスと滅私奉公の三点セットで成り立っていると嫌でも気づく。気づいても認めないのは信仰者だけだよ。

あるいは最近、土俵上に女性があがって救命処置した騒動が話題になってるけど、これつまり、伝統的な信仰か、人命を優先する合理的な思考か、どちらを重んじるかって選択だよな。

でもこの国の国民は昔から、組織や伝統のためなら人命を軽んじるんじゃないかな。俺は、多数決がそうなら、この国はそれでしょうがないと諦めてる。

いっそ相撲協会ごと米に輸出したらどうかね。ってかウィキだと、人間同士の最古の相撲は蹴りが主体の格闘技らしいから、より伝統を重んじるなら世界中の格闘家で蹴り相撲すればいいじゃん。絶対盛り上がるし、どうせ伝統の価値なんて古きや古いほど勝ちなんですよ？

俺は合理的に優れていれば別に、古かろうが新しかろうが受け入れるつもりだけだよ。

たぶんUは、国民として生まれた以上この国の制度に守られてるから、その分義務も果たさなきゃいけないって考えてると思うんだ。

でもこの国はいつまで国民の生活を守ってくれんのかね。今でさえ格差拡大で天下り大国で与野党とも自分の利益確保に必死で一般人は年金もらえるかもあやしいうえに実質経済も粉飾臭いのにな。

さて、俺が最近クリアしたゲームは「エターナルダークネス」ってゲームキューブのソフトなんだけど。

敵と戦っていると急に音声ミュートになったり、「コントローラとの通信が切れました」って表示が出たり、いきなり「この続きは次作で！」って宣伝になったりするんだけど、嘘で。ゲームの主人公ではなくプレイヤー自身に幻覚を見せるっていう、これが噂の「サニティ・システム」だよ。

あとPS2の「ブローケンソード」ってのもクリアした。要約すると「アンチャーテッド」からスリルとサスペンスとアクション全部抜いて、そのスカスカになった腹の中に大量の嫌味をブチ込んだゲームだね。他人の家に土足で踏み入りケチなジョークをまき散らす主人公を操作する苦

行ゲーだよ。PSは2しか持ってないから、泣きながら大根メシ喰らうおしんよろしく、「アンチャーテッド」出来ない溜飲（酸っぱい液）を反芻するしかない俺だ。

でもおっさんになって気づいたんだけど、子供の頃みたいなゲームがしたいワケじゃないんだよね。ただ変な世界を観光したいだけなんだよ。

ちなみに俺もついに最新式のWii Uを手に入れた。switchじゃなくてもゼルダをやることに気づいたからさ。

んで思うのは、和ゲーはやっぱり良くも悪くも真面目で親切だよ。油断するとすぐゲームゲームしやがるんだよあいつら。

だって指定されたミッションって、プレイに目的ができるメリットはあるけど、ゲームするんじゃなくてさせられてるデメリットがあるよ。

よくわからんままなんとなく進む方がリアルじゃん。「GTAシリーズ」や「たけしの挑戦状」の良さは、たぶんそのよくわからんさにあるんだと思うよ。「GTA」はIIIしかやってないけど、ちまちま長時間かけてクリアした俺が言うんだからね。

そういう意味じゃゼルダもすごいリアルなんだけど、もっと馬がウンチしたり動物同士で争って死体を奪い合ったりしてほしい。リンクが馬糞踏んでネチャネチャしないように、やっぱり陽の当たるキレイどこだけを作り込んでる気がする。

その点、洋ゲーは単に親切さに欠けるだけかもしれないけど、ゲームを超えたリアルさを希求する強い意欲を感じるよ。気づいたら洋ゲーばっかやってるんだからね俺。あとタッチちゃんなんて大キライなんだからね南。

これは今回のテーマなんだけど、すべての事柄には長所と短所、メリットとデメリット、光と闇と（タッチちゃんとカッチャン）が存在する。

なのに長所やメリット、光（達也）しか語らないのは、単に自分の信仰を告白してるにすぎない。公平じゃないし、ビジネスであれば詐欺だよ。カッチャン（闇）のことだって忘れないよ南は。

たとえば原発でも温暖化でもなんちゃらミクスでも肯定派と否定派の学説があって、学問は本来、数値化されたデータを基に最も客観的な結論に辿り着くよう努力するのが原則のはずだけど、最近の学問は基本言いつぱなしで、相手のデータを頭から否定して平行線の議論にしかならない。自分の立場を保守するだけのビジネス学問が主流の時代だからね。

自説にとっての闇を見ずに光しか語らない社会で公平性を廃したら、力の強い声の大きい者だけが勝ち続けるよ。

ちなみに、公平さの長所は最も事実近づけるといって点であり、短所は真の公平さはどこにも存在しないという点だ。何かを信じた瞬間に公平さは失われる。常に変化し続ける公平さ自体を、疑い続けてこそその公平だ。

俺はUと公平なやり取りがしたい。まずUとの違いを発見し、思考を研ぎ澄ませて合理的に読解する。そして立場に寄らない光と闇を抽出したい。

ただし光か闇か（タッチャンかカッチャンか）、最終的にどちらを選ぶかは（南の）好みだと思う。だから「そこに絶対はない」と気付く終着の電話ボックスまで行けたらいいなと思ってる。

それで今政府を中心に、放送法4条を変えようって話があるから何が書いてあるのか調べた。

まず「一 公序良俗を害しない」「二・四 政治的公平性・中立性を保つ」って部分は、視聴者の立場次第で「俺にとっちゃ偏向放送だ！」って断定できるから、厳密な定義が不可能な法だと思う。

ただ、「三 報道は事実をまげないですること」って部分を削っちゃうと、冤罪で敵を糾弾するのがむしろ正義になるから、国民は分断されるだろうね。大義のためなら嘘も許される大本营発表が正当化される時代が、また来るよ。

この国民の分断こそが、この国の政治の本質だと俺は思うんだよ。ここいつもの嫌味だとUに思われぬように、ウィキに載ってるような一般的な事実を中心に端的に論拠を示すよ。

1970年代末から80年代にジャパンバッシングがあって、この国の貿易黒字が欧米から叩かれて肅清された。ジャイアンならぬ米アンらに目を付けられ、そこからこの国の政治は、国益のために自らの国力を削り続けて来た。あるいは、杭が出過ぎないように見せる工夫もして来ただろう。

対米従属の維持こそが国是であり、そのために国力を削ることが逆に国益に適うという皮肉な時代だったからだ。

バブル崩壊後を「失われた20年」とカッコつけて自称したのも、結局は米アンの傘に入れてもらうために、ハイ喜んでカツアゲされ続けるだけの政治に少しでも色を付けたいがためだ。

現政府もその流れを継承してる。事実として、米アンの意向に逆らう政策は選択されない。過去、米から距離を置こうとした某政権も今度は中に媚びすぎて瞬殺された。ここらへん、Uが落胆するはずだね。

今でも国民の税金を投資やバラマキ外交に突っ込んで主に海外の資本家に貢ぎ続けてる。教育を骨抜きにし、読解力を落とす。捏造や隠ぺいで自己の利益を優先させ、バレても開き直って国論を分断させる。

結果、どんどん国力が減退していく。本来は左右を問わず国民が一致団結しないと、船は確実に沈んでいく場面だ。意思統一のための公平な議論が急務だ。

でも現実には、米アンに頭を抑えられてるから上には行けないストレスを、自国の美しさを自画自賛することで発散しつつ、より弱いものを叩くだけのスネ夫政治が横行してる。

以前Uと合意したけど、このまま大きな戦争や世界的な災害などが起きなければ、この国は順当に衰退し続けていく流れにある。

今、米アンはプロレス的な紆余曲折を経ながら、世界の警察をやめ、国家規模を縮小しつつ、一国集中で世界経済を牛耳るリスクを放棄しようとしてる。米露中とEU印中東その他を中心に世

界経済を分割統治するリスク分散型の世界経済への移行期だろう。

多国籍企業が巨大化して世界中を網羅し、通信技術の発達により金持ち権力層の合意が進むと、世界経済のエンジンは、国という単位から企業や資本家という単位により移行していくはずだ。

米露中ら大国は一見トムとジェリー風のドタバタ小競り合いを演じつつも、まるで丸チーズを切り分けるように、世界の分割統治へと駒を進めていく。

ただ残念なのは、フィクションだったら目ん玉飛び出ても崖から落ちててもコメディで済むけど、現実のドタバタは死者や難民の増加で笑えないって話だね。

ここが一つの肝だと思うんだけど、トランプの当選をごく単純にウマシカ読解すれば、今までの肥大化路線に米国民は疲弊し厭戦傾向が高まったから、世界警察の地位と利得を大国間で分け合うために、露中と歩み寄れる大統領が望まれたんでしょう。それが世界の金持ちの新世界秩序なんでしょう。

米アンが世界警察をやめて在韓と在日米軍を撤退したら、梯子を外されたこの国は待ったなしになるよ。韓は北とくっついて中の子分になるだろうけど、この国はそれ以外のアジアとくっついて上手くやれんのかなって流れだろう。どっちにしろ衰退するこの国はその時こそ、自力で復活するために一致団結する必要に迫られるでしょう。

あと、この国の投票率が上がらないのは極論すれば、結局対米従属で政治が決まるからだよ。誰が首相になろうが、対米従属が変わらないと変化はない。むしろ米大統領選に投票できたほうが、よっぽど生活に直結するから率が上がるんじゃないかと思うよ。

Uに言いたいことがあって、米アンに支配されてるこの国に、別の大国が侵略してきて解放してくれたら、国民の大半は喜ぶだろうか？

絶対裏があるに違いない、お前らの得になるからやってんだろ、俺たちは誰にも支配されていない、何してくれてんだと怒る人も多いだろう。またはネズミ男のように、今度はその大国にすり寄る権力者も多いだろう。

Uが前に言ってた、先の大戦でこの国が周辺国を解放していったって話は、確かに戦争の光の部分だけど、裏側から見たらどうだろう。

時の権力にゴマすって生きてるネズミ男層にすりゃいい迷惑だろうし、こっちだって周辺国を解放するとメリットがあるから戦ったんだろ。

被災地でも、家が汚れたからって他人が勝手に掃除始めたら、喜ぶ家主だけじゃない。そういう闇もある。

戦争にも確かに光はあるだろう。でも光だけ語るのには信仰だ。公平に語るには光も闇も同列に扱う必要がある。

世界中を旅したUだから、まだこの国の方が他国よりマシって結論だと思うんだよ。今はね。

でもすでに、一般国民は滅私奉公へ、権力層は増私方向へって政策が本気で始まっている。サッカーだってメッシ強で、他は滅私なのがトレンドじゃん。メッシを小一時間こねくり回して出来たのがこの一文だよ。安心のウマシカ・クオリティだね。

良薬口に苦しで、国民でいるメリットがまだある内はいいけど、そのうち毒を食らわば皿までの滅私奉公を強要されたら、何のために税金払うのかわからなくなるよね。

少なくとも、EUって枠組みやベーシック・インカムって政策が曲がりなりにも同時代に存在する以上、その光と闇について公平に考え、どんな国に住みたいのか、全国民が真剣に議論する必要があるんじゃないかな。

ウマシカの一つ覚えで国の単位に固執したり格差拡大に加担するのは、これまでの権力保守層による信仰の押し付けとも考えられるよ。

今回はこんな感じ。やっとなんとなくまとまった。

どうかな？



以下、本当にどうでもいいはみだしなんだけど、学生の頃UにバカCDで、「ラリパッパブルース」（南烏山六丁目プロダクション）って歌を聴かせたことがあって。

これがちょうど20年を経た平成の終焉にやっと時代が追いついた感じなんだよ。冒頭とか特にね。

「エビバデ 天は上下にまた人づくり あべこべの仁義をたてまつる 平等なき平成版羅生門
こわれてあいたまま クライクライクライ
うまれくる子供よ ようこそ迷い狂へる世界へ」

あと、サイトに公開してるウマシカのPDF機能がここ一年エラーのままだから調べてたら、第二十五回で書いた「私は思い出す」の最後のページが壊れてることに気づいた。Uに送ったメールでは問題なかったから、いつ壊れたのか分からないんだけど。

悔しいやら恥ずかしいやらだったけど、タイトルが「私は思い出す」だからちょうどかなとも開き直すことにした。

PDFとかいろいろ修正してる途中です。

悔しついでに一応書いておきます。

最後に追記なんだけど、Uの言う「美しい保守」なら、某J隊の日報について、とりあえず「自分たち政治家のせいで某J隊に汚れ役をさせて申し訳ない」って言うんじゃないかな。

米の要請を断れない政治家の指示で、国防と直接つながらない海外の戦場に命がけで派遣されてんのに、戦闘状況があっても正直な報告を禁じられて、嘘つくこともできず報告が漏れたら「驚きとともに、怒りを禁じ得ない」なんて梯子外されて、待遇改善の議論も盛り上がらない。

権力者の利権を守るために兵隊を酷使するのがこの国の伝統だと思うよ。

次回こそ、『人工知能の夢』を続ける予定だよ。



考えるウマシカ～第四十罰回 平成の終焉と『ラリパッパブルース』～

<http://p.booklog.jp/book/121421>

著者：弦楽器イルカ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/gengakkiiruka/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/121421>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト